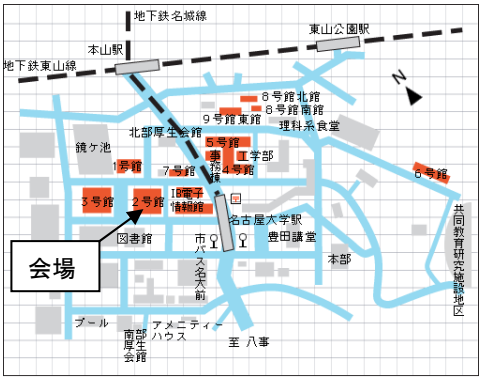
日本航空宇宙学会中部支部　第 292 回定例談話会のお知らせ

講演題目:
イプシロンロケットフェアリングの開発について

講演者:
西尾 誠司 氏
川崎重工業株式会社 航空宇宙カンパニー 技術本部
宇宙機器設計部 宇宙機器二課

講演内容(Abstract):
イプシロンロケットは、宇宙航空研究開発機構（JAXA）が開発を進めている小型固体燃料ロケットであり、試験機は「惑星分光観測衛星」を搭載し、鹿児島にある JAXA 内之浦宇宙空間観測所から打上げられます。
ロケットの先端に位置する『フェアリング』は、内部に格納された衛星を、打上げや飛行時の音響、振動、温度などの過酷な環境から保護し、大気圏外に到達した後は衛星を分離するために左右に割れて離脱する重要な役割を担っています。
イプシロンロケット用フェアリングの開発では、短い開発期間で高性能と低コストを両立するため、H-2A/B ロケット用フェアリングで実績のある信頼性の高い基盤技術を活用する一方で、半殻一体パネルや水没化構造、新規断熱材といった新規技術を採用しています。
本講演では、フェアリングの仕様概要および開発試験を含む開発作業の概要について紹介します。

講演日時　:平成 25 年 11 月 8 日（金）17:00～18:30
講演場所　:名古屋大学工学部二号館 242 講義室
（地下鉄名城線「名古屋大学」駅 3 番出口 徒歩５分）



参加費　:無料
（事前登録不要，当日直接会場にお越し下さい）

主催　:日本航空宇宙学会　中部支部
問合せ先　:日本航空宇宙学会　中部支部事務局
第５６期幹事　新玉 重貴
川崎重工業(株) 航空宇宙カンパニー
技術本部 民間航空機設計部
TEL:058-382-5187　FAX：058-382-9148
E-mail：aratama_shigeki@khi.co.jp
中部支部 HP：http://jsass-c.jp/